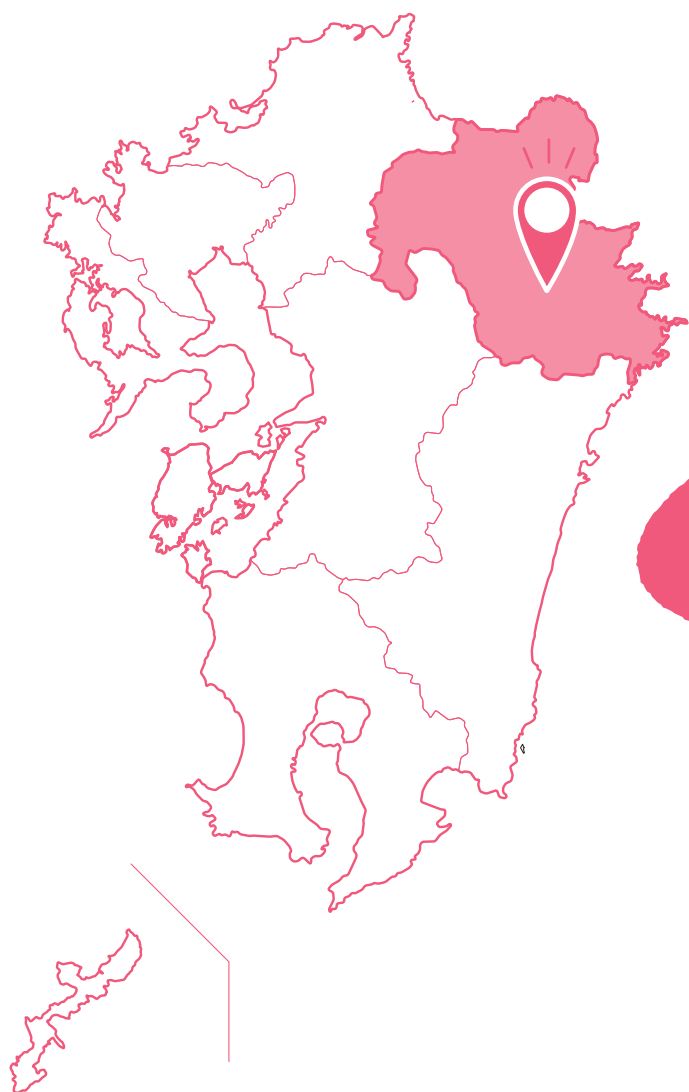


キャリア・パスポートを 「自己理解」につなぐ

～ 大分県中学校教育研究会進路指導・
キャリア教育部会「自分を知ろうカード」より～



今回は
大分県の事例です!





自己の現状を把握し、先を見通す

題材「これまでの生活を振り返り、中学校生活を見通そう」

キャリア教育リーフレットシリーズ特別編 キャリア・パスポート特別編第5号では、大分県中学校教育研究会進路指導・キャリア教育部会が、県内全ての小中学生を対象に作成している「自分を知らうカード」について御紹介します。

「自分を知らうカード」は、**大分県内の全ての小学校6年生が記録し、それを進学先の中学校に引き継ぐ教材です。**これは、中学校1年生における不登校の増加や学習及び生活への不適応の問題から大分県中学校教育研究会進路指導・キャリア教育部会(中学校教師による任意の団体)が平成10年に開発したものです。

♪自分を知らうカード♪

【 】学校 【 】年 【 】組 名前【 】

これまでをふり返って、自分を見つめよう。

自分の気持ちに一番近いものに○をつけましょう。

	年 月 日記入			
	よくできた	まあまあできた	あまりできなかった	ぜんぜんできなかった
場面や相手に応じた、あいさつや言葉づかいをすることができましたか。				
学校や家でのルール、社会のマナー(他人に迷わくをかけない)を守って、生活することができましたか。				
思いやりの気持ちを持ち、相手の立場に立って考えたり、行動したりすることができましたか。				
勉強や学校生活で、むずかしいことや失敗したことがあっても協力して努力することができましたか。				
委員会、係、当番活動で、与えられた役割の責任を果たすことができましたか。				
学校や家で、係以外の仕事をしたり、自分から進んでお手伝いすることができましたか。				

★自分の良いところは、どんなところですか？

★「自分のこういうところは直さないといけない」と思うのはどんなところですか？

★今、熱中していることはどんなことですか？

「自己評価」「相互評価」

話し合い活動から生活を振り返る

「自分を知らうカード」はA4判両面刷りの一枚ものです。(表面では、)小学校6年生の3学期の学級活動において、学級内での話し合い活動を大事にしなが、これまでの小学校生活を振り返ります。まずは、6つの視点から自己評価します。そして「自分の良いところ」、「自分の直したいところ」についての話し合いを基にして自己評価、相互評価をします。また、小学校6年生の今、熱中していることを記録します。



自分の将来や、これからのことについて考えてみよう。

★あなたの将来の夢やしてみたい仕事は、どんなことですか？

将来の夢や仕事につくために、どのような道筋があるかを知っていますか。

★これから、がんばってみたいことはどんなことですか？

★中学校(中学部)の先生へ

今、学校生活に対して期待すること、わからないことや不安なことなどを書きましょう。

自分の考えを大事にしつつ 他者の考えから刺激を受けて

(裏面では、)小学校6年生の今「将来の夢やしてみたい仕事」、「これからがんばってみたいこと」を記録します。自分の考えを大事にしつつ、話し合い活動によって、他者の考え方や気持ちを知り、相互に刺激を与え合い、可能性を広げられるように配慮します。

そして、直近の進路、中学校入学に向けての期待や不安を中学校の教師に向けて書きます。

小学校6年生の3学期に行われるこの話し合い活動を基にした記録が「自己理解」につながっています。

大分県中学校教育研究会進路指導・キャリア教育部会は中学校入学後、8か月経った12月に小学校の時に記録した「自分を知らうカード」を使った学級活動の授業を推奨しています。(3ページ授業事例を参照。)中学校では、小学生の時の記録を振り返ることにより、時間や場面を越えて自己の成長や変容を自覚する「自己理解」につなげることを狙っています。



自己の成長や変容を自覚する

(例)中学校学級活動 題材「この一年間の自分の成長を振り返ろう」

	生徒の活動	教師の問い	生徒の発言や様子
導入	<ul style="list-style-type: none"> 👥(班) 中学入学後の8か月を振り返る 👤(個) 本時のねらいを確認する 	<p>「この8か月何があっただろう」 「自分を知ろうカードとは…」</p>	<p>班ごとに8か月を振り返る 同様のカードを一年前に記録したことは覚えていない(自信がない)</p>
<p>※中学校版「自分を知ろうカード」の内容は小学校版とほぼ同じ。最後の欄は「後輩へのメッセージ」になる。</p>			
展開	<ul style="list-style-type: none"> 👤(個) 「自分を知ろうカード」に記録する 👤(個) 一年前の記録と比較する 	<p>「自分を知ろうカードを書いてみよう」</p> <p>「これまで同じようなカードを書いた経験はないだろうか」 「先生は大事に読ませてもらっていましたよ」 「では、一年前の記録と比べてみましょう」</p>	<p>記録が円滑に進むよう教師の個別支援が有効になる</p> <p>「あります。6年生の時に」 「え～、他の小学校でも書いたのですか」 「あ～、中学校の先生が持っていたのですね」 「あ～、中学校の先生が持っていたのですね」</p>
	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; margin-right: 20px;"> <p>小学校の先生から引き継ぎました。君たちの入学式前に全員分をじっくり読ませてもらいましたよ。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; margin-left: 20px;"> <p>小学の先生から引き継ぎました。君たちの入学式前に全員分をじっくり読ませてもらいましたよ。</p> </div> </div>		
	<ul style="list-style-type: none"> 👥(班) 互いの成長を話し合う 	<p>「お互い、成長したところを確認し合しましょう」</p>	<p>「一年前はこんなことを心配していたのか」 「字がきれいになっている」 「みんな、成長しているね」</p>
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>★中学校(中学部)の先生へ 今、学校生活に対して期待すること、わからないことや不安なことなどを書きましょう。</p> <p>6年 いろいろな授業を受けることが楽しみです。 友達関係が不安です...</p> <p style="text-align: center;">↓ 一年後 ↓</p> <p>★これから中学校に入学する君たちへ これから中学校(中学部)へ入学する後輩へ中学校生活を紹介します。</p> <p>中1 中学校はラストがあって大変だけど、体育祭、文化祭などいろいろな行事があり、とても楽しいです。部活は毎週毎日あるけれど、先輩も優しいです。クラスの人も仲良く毎日毎日とても幸せです! 絶対に優勝します!</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>★中学校(中学部)の先生へ 今、学校生活に対して期待すること、わからないことや不安なことなどを書きましょう。</p> <p>6年 上の学年がこわそう。</p> <p style="text-align: center;">↓ 一年後 ↓</p> <p>★これから中学校に入学する君たちへ これから中学校(中学部)へ入学する後輩へ中学校生活を紹介します。</p> <p>中1 中は、日本一熱い学校を目指していて、とても絆強い学校なので、みなさんが来るのとても楽しみにしています。</p> </div> </div>	<ul style="list-style-type: none"> 👤(個) 自己変容を確認し、見通しを立てる 	<p>「この一年間で成長したことを書き出してみよう」</p> <p>「では、この活動からこれからのがんばりポイントも書き出してみよう」</p>	<p>自己変容に気付けない生徒への個別支援が不可欠になる がんばりポイントを意思決定したと自覚できるような配慮が求められる</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>☆自分が成長したこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1日1日を楽しく過ごすこと。 ・いろいろな人の相談を聞くこと。 ・体育祭&文化祭などでみんなを本気にさせること。 ・みんなと仲良くできること。 </div>
終末	<ul style="list-style-type: none"> 👥(班) 自己変容とこれからのがんばりポイントを共有する 👤(個) 実践への決意をもつ 	<p>「自己変容とこれからのがんばりポイントを共有しよう」</p>	<p>(次ページに解説)</p>

中学校入学前の自らの記録を目の当たりにし自己変容を実感したこと、他者から成長を認められたことによる自己理解の深まりを見取ることができました。また、中学生の段階ともなれば様々な振り返りによって、根拠をもった見通しができるようになるかもしれません。また、「自分を知ろうカード」は書かせるだけでなく、それを活用して教師が対話的に関わるのが大事であると実感しました。(学級担任談)

自分を知らうカード」を活用して 校種を越えた「自己理解」につなぐ

多くの学校では、学級・ホームルーム活動で児童生徒が一年間の生活や学校行事の目標を立てたり、それらを振り返ったりする活動を大事にしているはず。また、そういった活動で児童生徒によって記録されたワークシートや作文も丁寧に掲示されたり、蓄積されたりしているのではないのでしょうか。

しかし、その蓄積と振り返りが学年や校種を越えて行われている例は必ずしも多くないようです。児童生徒の学びは連なっているのに、学年や校種の垣根で隔てられているのかもしれない。

2～3ページの事例は一枚の「自分を知らうカード」を使って、校種を越えた「自己理解」につないでいるのです。



これって、キャリア教育なの？

3ページの事例では、小学校6年で書いた「自分を知らうカード」と一年後の中学校1年で書いた「自分を知らうカード」を比較して見ることににより、この一年間で成長したことを生徒は右の記述のように実感しています。

この生徒は、例えば「いろいろな人の相談を聞ける」「みんなを本気にさせる」という役割を果たせるようになった自分に気が付きました。

「キャリア」とは、人が生涯の中で様々な役割を果たす過程で自らの役割の価値や自分と役割との関係を見いだしていく連なりや積み重ねと定義(2011, 2012文部科学省「キャリア教育の手引き」)されています。

正にこの授業で、生徒は自分の役割の変化やその過程を自覚したと言えるのではないのでしょうか。

☆自分が成長したこと

- 1日/日を楽しめるようになったこと。
- いろいろな人の相談を聞けること。
- 体育祭&文化祭などでみんなを本気にさせること。
- みんなと仲良くできること。

3ページの授業事例は、大分県津久見市立第一中学校のもので。

津久見一中で全校共通のキャッチフレーズになっているのが「日本一熱く、絆強き学校」です。それが、教師との対話的な関わりによって、生徒の中に根付いていることが記録(3ページ授業事例 展開にある右側 中1の記述)を見ると分かります。

3ページの授業の中では、小学校6年時に書いた「自分を知らうカード」を中学校の担任が読み込んでいたことを知った生徒たちは安心感に包まれました。共感的な雰囲気の中での話し合い活動、意思決定が行われていきました。

